

# 福祉健康科学部門 (社会生活行動支援)

## 社会福祉・社会学分野

### 学術論文

- 1 齊場三十四・医学部での共生活感教育の確立・総合リハビリテーション・医学書院・32巻・11号・2004
- 2 齊場三十四・心身機能・障害認識を間違った技術は新しいバリア・社会福祉研究・鉄道弘済会・11・2004
- 3 齊場三十四・高齢社会のための交通機関と共生活感・月間福祉・12・2004
- 4 齊場三十四・交通バリアフリーの現状と課題・日本福祉町づくり学会誌（九州）12・2004

### 研究発表

- 1 齊場三十四・交通バリアフリーの現状と課題・日本福祉町づくり学会（佐賀大会）12・2004

### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	齊場三十四	厚生労働省老人保健研究事業(公的給付における福祉用具評価システムに関する研究)		佐賀県における福祉用具給付システム(テクノエイド)の確立に関する実証	4,200
教授	齊場三十四	平成16年度佐賀大学大学改革推進経費	佐賀地域健康福祉推進総合研究支援事業(分担)	人間のモビリティ維持向上のための総合的アプローチ—ライフサイクルを通じた移動行動の保証をめざすモビリティリサーチセンター構想—	

## 認知神経心理学分野

### 学術論文

- 1 Etsuo Horikawa, Nobuyuki Okamura, Manabu Tashiro, Yumiko Sakurada, Masahiro Maruyama, Hiroyuki Arai, Keiichiro Yamaguchi, Hidetada Sasaki, Kazuhiko Yanai, Masatoshi Itoh, The neural correlates of driving performance identified using positron emission tomography, Brain and Cognition, (in press)

### 学会発表

- 1 田代 学<sup>1</sup>, 堀川悦夫, 望月秀紀, 櫻田幽美子, 加藤元久, 井ノ口貴俊, 谷内一彦, 抗ヒスタミン薬内服による自動車運転中のブレーキ反応時間および主観的眠気: 鎮静性および非鎮静性抗ヒスタミン薬の比較, 第34回日本神経精神薬理学会, 2004. 7. 22
- 2 堀川悦夫, 高齢者易転倒性測定検査の開発と多重課題処理のモビリティ研究への応用, リハビリテーション入門講座, 第42回佐賀リハビリテーション研究会, 2004. 11. 7 (教育講演)

## 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	堀川 悦夫	文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)(2)	認知課題遂行の歩行への影響を指標とした高齢者易転倒性検査システムの開発	2,000
教授	堀川 悦夫	平成16年度佐賀大学大学改革推進経費	佐賀地域健康福祉推進総合研究支援事業(代表)	人間のモビリティ維持向上のための総合的アプローチライフサイクルを通じた移動行動の保証をめざすモビリティリサーチセンター構想	4,040
教授	堀川 悦夫	アベンティスファーマ(株)	奨学寄付金	抗ヒスタミン薬及び携帯電話使用による自動車運転機能低下に関する研究	1,000

## リハビリテーション工学分野

### 著書

- 1 松尾清美：車いす用手袋と駆動方法と使い方 リハビリテーション機器の工夫とアイデアーすぐに役立つ実践書一，編集：田中宏太佳，高見健二，78-84，永井書店 2004. 7.
- 2 松尾清美：大車輪脱着のための補助輪の開発 リハビリテーション機器の工夫とアイデアーすぐに役立つ実践書一，編集：田中宏太佳，高見健二，85-91，永井書店 2004. 7.
- 3 松尾清美：電動移動機能をもった電動起立補助機の開発 リハビリテーション機器の工夫とアイデアーすぐに役立つ実践書一，編集：田中宏太佳，高見健二，92-96，永井書店 2004. 7.
- 4 松尾清美：低濃度オゾンを利用した室内脱臭装置の開発一空気清浄機タイプ（フレッシュケア24）リハビリテーション機器の工夫とアイデアーすぐに役立つ実践書一，編集：田中宏太佳，高見健二，201-207，永井書店 2004. 7.
- 5 松尾清美：段差解消機・階段昇降機の選択ポイント 福祉用具の活用法，共同監修：京極高宣，市川 洵，186-192，北隆館，2004. 9.
- 6 松尾清美：福祉用具を利用した生活のための住宅改修 it's a 福祉用具，監修：市川 洵，67-150，財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団，2004. 10.
- 7 松尾清美：在宅生活を豊かにする福祉機器と住環境一身体障害者1000件の生活環境改善例をもとに考えた生活環境の考え方一，小児リハビリテーション，No.50，編集：穂山富太郎，全日本病院出版会，2005. 2.

### 学術論文

- 1 児玉広幸，口ノ町康夫，吉村尚，岩坪英二，松尾清美，重見日出男，安達美恵子：超音波尿量モニタ…薬事申請から認可，販売まで，第6回福祉技術シンポジウム，2004年2月.
- 2 松尾清美，小林博光，江原喜人，磯崎伸也：室内用車いす兼用シャワーキャリーの開発一その2.一第19回リハ工学カンファレンス講演論文集 Vol.19 141-142，2004年8月
- 3 梨原 宏，松尾清美，興野和樹，松永圭司，古川，服部，山田：木製6輪車いすの開発（その1.基本設計），一第19回リハ工学カンファレンス講演論文集 Vol.19 153-154，2004年8月.

- 4 松尾清美, 梨原 宏, 興野和樹, 松永圭司, 古川, 服部, 山田: 移乗機能を考慮した木製6輪車いすの開発(その2. 使い方), 一第19回ハ工学カンファレンス講演論文集 Vol.19 155-156, 2004年8月.
- 5 松尾清美, 梨原 宏, 興野和樹, 松永圭司, 山田賀久: 姿勢調節と移乗機能を向上させた室内用6輪車いすの開発, 第20回日本義肢装具学会学術大会講演集, 20巻特別号, 124-125, 2004年11月.
- 6 玉井路加子, 浅見豊子, 竹下淳子, 江下敏子, 松尾清美, 野田直幸: 当院における車椅子支援システム, 第20回日本義肢装具学会学術大会講演集, 20巻特別号, 130-131, 2004年11月.
- 7 北村奈美, 松尾清美: サクセスフルエイジング～福祉用具と自立生活の関連性 その1. 車いす～, 第7回日本在宅医学会, p110, 2005年2月.

#### 学会発表

- 1 児玉広幸, 口ノ町康夫, 吉村尚, 岩坪英二, 松尾清美, 重見日出男, 安達美恵子: 超音波尿量モニタ…薬事申請から認可, 販売まで, 第6回福祉技術シンポジウム, 2004年2月.
- 2 松尾清美, 小林博光, 江原喜人, 磯崎伸也: 室内用車いす兼用シャワーキャリーの開発—その2.—第19回ハ工学カンファレンス 札幌, 2004年8月
- 3 梨原 宏, 松尾清美, 興野和樹, 松永圭司, 古川, 服部, 山田: 木製6輪車いすの開発(その1. 基本設計), 一第19回ハ工学カンファレンス, 札幌, 2004年8月.
- 4 松尾清美, 梨原 宏, 興野和樹, 松永圭司, 古川, 服部, 山田: 移乗機能を考慮した木製6輪車いすの開発(その2. 使い方), 一第19回ハ工学カンファレンス, 札幌, 2004年8月.
- 5 松尾清美, 梨原 宏, 興野和樹, 松永圭司, 山田賀久: 姿勢調節と移乗機能を向上させた室内用6輪車いすの開発, 第20回日本義肢装具学会学術大会, 名古屋国際会議場, 2004年11月.
- 6 玉井路加子, 浅見豊子, 竹下淳子, 江下敏子, 松尾清美, 野田直幸: 当院における車椅子支援システム, 第20回日本義肢装具学会学術大会, 名古屋国際会議場, 2004年11月.
- 7 北村奈美, 松尾清美: サクセスフルエイジング～福祉用具と自立生活の関連性 その1. 車いす～, 第7回日本在宅医学会, p110, 2005年2月.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
助教授	松尾 清美	株式会社大井製作所		新規の振動・衝撃吸収材を活用した福祉機器の開発と改良	500
助教授	松尾 清美	三洋電機株式会社	技術開発本部からの受託研究	体位変換電動ベッドの機能評価および効果検証	1,000
助教授	松尾 清美	平成16年度佐賀大学大学改革推進経費	佐賀地域健康福祉推進総合研究支援事業(分担)	人間のモビリティ維持向上のための総合的アプローチ—ライフサイクルを通じた移動行動の保証をめざすモビリティリサーチセンター構想—	